

発行日
2023年
6月18日



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

今週のお祈り
聖霊降臨後第3主日 (特定6) 特権
あなたを愛する者のために、人の思いに過ぎた良い賜物を備えてくださる神よ、どうかわたしたちに何ものよりもあなたを愛する心を得させ、わたしたちの望みうるすべてにまさる約束のものを与えてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

先月から、日曜学校こども礼拝はすべて元通りになりました！ こども聖歌を2曲歌い、唱えていた詩編にもメロディーがついています。本当に久しぶりですが、いつものように礼拝できました。感謝ですね♪

今週の聖書 マタイによる福音書 9:35-10:8

35 イエスは町や村を残らず回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いを癒やされた。36 また、群衆が羊飼いのいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。37 そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。38 だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう、収穫の主に願いなさい。」

1 イエスは十二人の弟子を呼び寄せ、汚れた霊に対する権能をお授けになった。汚れた霊を追い出し、あらゆる病気や患いを癒やすためであった。2

十二使徒の名は次のとおりである。まずペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、3 フィリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、4 熱心党のシモン、それにイエスを



裏切ったイスカリオテのユダである。5 イエスはこの十二人を派遣するにあたり、次のように命じられた。「異邦人の道に行ってはならない。6 イスラエルの家の失われた羊のところにへ行きなさい。7 行って、『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。8 病人を癒やし、死者を生き返らせ、規定の病を患っている人を清め、悪霊を追い出さなさい。ただで受けたのだから、ただで与えなさい。」

聖書からのメッセージ 『弟子と使徒』 執事 高柳 章江

福音書の中には、「弟子」と「使徒」という言葉がたびたび入り交じってでてきます。今日の福音書の箇所にも「12人の弟子」(10:1)、「12使徒」(10:2)、「12人」(10:5)という言葉がみられます。マタイによる福音書では5人の弟子たちがイエス様に呼ばれる物語が記されていますが、あとの7人の名前はこちらではじめて明らかにされました。現在確認されているいちばん古いいつたえでは、12人のほかに使徒のグループがあったようです。マタイは「使徒」と「弟子」という言葉にはこだわらなかったようですが、一方ルカは「使徒」という言葉にこだわりました。ルカは12人=使徒と考えてリストをつくりました。結局、4つの福音書では12人の名前が完全に一致しませんが、伝統的に、たとえばヨハネ福音書でてくるナタナエルは他の福音書のバルトロマイと同じ人、と考えるようになりました。